



戦略CFO研究会

第1回 2021年9月17日(金)【講演】 東京

東京都立大学大学院

経営研究科 特任教授

前 デュポン株式会社 取締役副社長 橋本 勝則 氏

日本でCFOが育たない理由と 企業価値向上のためのCFO組織の役割

日本のCFOは、多くの場合ビーンカウンターと呼ばれる経理屋さん止まりになってしまう。その理由と真の経営参謀としてのCFOの役割を同氏からご講話いただく。講話を通じてDXの波に乗って持続可能な企業価値向上のために必要なCFO組織と、受講者自身の変革の為のロードマップのイメージを描く事が出来、その実践に繋がる一歩となるだろう。

第2回 2021年11月11日(木)【講演】 東京



ストラット
コンサルティング
株式会社

代表取締役 池側 千絵 氏

日本企業のCFO/FP&A組織の 変革が始まっている

米国の優良企業のCFOは、経理財務部門のほかにFP&A (Financial Planning & Analysis) という機能を持つ。FP&Aは本社のほか子会社・事業部門等にもCFOにレポートする。日本企業において、CFOがFP&A組織を作り、FP&Aが全社視点を持つビジネスパートナーとして経営者・事業部門の業績目標達成と意思決定を支援する動きが始まっており、その動きを紹介いただく。

第3回 2022年1月14日(金)【講演】 東京



株式会社大和総研

経営コンサルティング第二部

主任コンサルタント 大川 穰 氏

成長戦略に向けたホールディング経営と 検討を進めていくための実務

近年、非上場・上場企業を問わず多くの企業がホールディング体制へ移行している。しかし、ホールディング体制といってもその目的・利用方法は様々である。コンサルティング事例を交えながら、持株会社体制を検討する要旨、及び検討を進める上での実務についてご講話いただく。

第1回 2021年9月17日(金)【講演】 東京



Gree株式会社

取締役 上級執行役員

最高財務責任者 大矢 俊樹 氏

CFO最先端を行く経営管理 ～CFOの役割と実際、組織～

経営陣の一角として、企業価値を高めて行く役割がCFOには求められている。また、これからの経理・財務部門は、組織そのものの改革や革新に取り組むべき時に来ているが、どのように組織を変化させていくべきか? 上場企業3社をCFOとして牽引してきた同氏に、ご自身の経験を基にCFOに求められる人材要件、経理・財務における人財戦略についてご講話いただく。

第2回 2021年11月11日(木)【講演】 東京



グローウィン・パートナーズ
株式会社

代表取締役CEO 佐野 哲哉 氏

ビジネスをスケールさせるCFOの財務戦略

代表取締役CEOの佐野氏は、1992年に有限責任監査法人トーマツに入所。法定監査、IPO支援業務、NY事務所派遣を経て、M&A部門の立ち上げに参画。2000年、現在東証1部に上場するIT企業の設立メンバーとして参画し、CFOとして資金調達、資本政策、予算統制など、管理部門・経営企画部門全般を統括。2005年、グローウィン・パートナーズ株式会社を創設し、経営全般を統括している。前職・現職での経験をもとに、ビジネスをスケールさせる財務戦略についてご講演いただく。

第3回 2022年1月14日(金)【講演】 東京



シーアール物流株式会社

代表取締役社長 大久保 泰造 氏

ポートフォリオを活かした パーパス&プロフィットの経営へ

2030年を見据えて「社会的価値から経済的価値へ」を追求するシーアールグループでは、レジリエンスな経営を推進し、地域でもいち早くホールディングス制を取り入れ、現在も成長M&Aにより事業ポートフォリオを構築。人財が最大の経営資源とし、一人ひとりの幸せを経営の最優先事項とする同社の地域繁栄アクションについて経営参謀CFOに期待する役割などを交え、その動きをご紹介いただく。

第4回 2022年3月15日(火)【講演】 東京

「成長M&A」実践研究会と合同開催

弁護士法人

ノーサイド法律事務所 弁護士 張 佑騎 氏

M&Aにおける法務DDの実務上のポイント ～効果的なDDを行うために～

M&Aを成功に導くためには、法務DDを通じて法的リスクを適切に分析し、①本当にそのM&Aを実施すべきか、②発見したリスクを価額にどのように織り込むべきか、③M&Aの契約書にどのような条項を設けるべきか、④M&A実行後、どのような点に対応していくべきかをしっかりと押さえることが重要です。本講演では、これらの点に関連する法務DDの基礎と実務上の要点を丁寧に説明いただきます。

第5回 2022年5月24日(火)【講演】 東京

ホールディング経営研究会と合同開催



テントウワン®グループ

テントウワン税理士法人

代表社員税理士・中小企業診断士

前田 直樹 氏

経営に附帯する価値として考える税務対策 ホールディングにおける税務のポイント

新大阪事務所を本店として、和歌山市と姫路市に支店を展開する。多彩な国家資格者の協働によって、事業承継を契機とする組織再編やM&A、ホールディングの税務を中心に「最良の一手」を追究。近時、ホールディングという選択肢への相談や支援要請が多く寄せられ、千差万別となる経営課題に対して、税務の視点をはじめ、多面的なアプローチと提案そして実行支援を行っている。

第6回 2022年7月26日(火)【講演】 東京

オルデナル・コンサルティング合同会社

代表社員 長谷川 正恒 氏

経営者必見!数字に強い ビジネスパーソンになるためのポイント

ビジネスシーンではデータや数字の活用が欠かせません。特に経営に関わる人にとって数字力の強化は必要不可欠です。しかし多くのビジネスパーソンは数字が苦手。特に学生時代数学が苦手だった人は数字に対する苦手意識が今でも残っています。本講演では、数字に対する苦手意識を克服しビジネスシーンで上手く数字を活用するポイントについて、ミニワークを交えながら楽しくご紹介いただきます。

第4回 2022年3月15日(火)【講演】 東京

「成長M&A」実践研究会と合同開催

代表取締役会長 近藤 宣之 氏

人を大切にしながら持続的に成長する 「幸福経営」モデル

～MEBOにより「社員全員株主」となった日本で唯一の会社～
企業で人を大切にすることは雇用を守ることであり、生涯雇用という心理的安全性が、社員の成長への意欲を高める。そのための条件は、透明性のある仕組みを作り、運用結果の納得性が高いこと。経営者や管理者の役割は社員の管理より、支援が重要である。社員が当事者意識、危機意識そして仲間意識を待つことで、幾多の危機を乗り越えてきた同様に、28年間黒字経営を維持している多くの制度と風土の具体的な事例紹介を含めてご講話いただく。

第5回 2022年5月24日(火)【講演】 東京

元松下電器産業 副社長 CFO 川上 徹也 氏

松下幸之助流 グループ経営改革と グループ経営者・CFOの育成

激変する不確実性の高い環境の中、企業全体を俯瞰する経営者とCFOの領域は拡大する一方である。リーダーは心技体のバランスが求められる。その中でも「心」こそ重要で嵐の中で羅針盤としていつも正しい方向付けをすることを求められている。パナソニック(旧松下電器産業)のCFOとして経営改革を支え推進した体験の数々の困難や失敗を振り返りながら、リーダー・CFOの心構えについてご講話いただく。

第6回 2022年7月26日(火)【講演】 東京



K O T O R A

株式会社コトラ

ディレクター

杉江 幸一郎 氏

人的資本経営と非財務情報開示のトレンド ～人的資本KPIとISO30414の活用～

SDGs/ESGという世界的な潮流のもと、日本でも内閣府の主導により「新しい資本主義」が進行中。「人材への投資と分配」を大きなテーマとし、有価証券報告書への記載義務付けをはじめとした様々な施策が進行しています。「人的資本経営」元年と言われる今、非財務情報の最重要項目である人的資本のKPI化の手法やメリットにつき、世界標準であるISO30414の活用も含めて解説いたします。

タナベ経営 戦略CFO研究会

検索

研究会の詳細は、こちらをご覧ください